

第5章 総括

第5章 総括

本報告書は、事前調査に基づきBIM教材（BIMデータ及びテキスト等）を開発及び公開をし、試行実施・評価を経て広報までの取組を整理したものである。

試行実施・評価により、教材の構成、視認性、情報量、確認テストの実施等について整理することができた。

指導員及び受講者アンケートに基づく総括として、指導員からは、テキスト構成・情報量・デザインの評価を得た。

また、運用上の（環境設定、操作説明等）の要望内容について確認することができた。

以上を踏まえ、改訂を継続的に実施していくことが必要である。

受講者からは、「図・画像の視認性」「教材の一部未使用」「確認テスト未実施」等が確認できたため、「図・画像の視認性」については試行実施後に修正した教材を公開している。

第1節 公開

基盤整備センターホームページでBIM教材紹介ページを立ち上げ、BIM教材を令和7年12月12日より公開した。

また、BIM教材と関連のある公共職業訓練を実施している都道府県職業能力開発主管課へBIM教材公開について広報し、施設への周知をお願いした。

1-1 公開範囲

公開対象は、公共職業能力開発施設とする。

1-2 配布・掲載方法

公開するBIM教材は、BIMデータ（Revitデータ、図面等）及びテキストである。利用上の注意（利用範囲、二次配布・二次利用・営利目的の禁止等）はテキスト巻頭の注意書きに示す。

配布は、基盤整備センターホームページの会員ページ（データ配信サービス）を通じて行う。

ホームページURL：<https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/>

仮ユーザIDによる会員ID登録後、会員IDを用いて会員メニュー（データ配信サービス）からログインし、会員限定ページからダウンロードできる。

なお、成果物の入手手順は上記URLを参照のこと。

1-3 利用開始条件

テキスト内容は執筆時点（2024年11月）の情報に基づくため、以後の製品・サービス等の変更により内容が異なる場合がある。

第2節 評価及び今後取組むべき事項

以下は、BIM教材に対する評価及び今後、職業大として取組むべき事項である。

(BIM教材に対する評価)

- ・ 指導員より「分かりやすい」が7割以上、「見やすい」が8割以上、「理解が深まる」は9割以上の評価を得た。
- ・ 受講者にとっても3D表示により納まり等を視覚的に理解しやすくという評価を得た。
- ・ 訓練生のレベルによっては、指導員の説明の工夫や動画コンテンツ等があるとより理解が早く深まる。
- ・ 今後公開予定の「構造図」「施工図」の教材について、期待を示す意見があった。

(職業大として取組むべき事項)

- ・ 研修や訓練技法により、指導員が訓練計画や導入・到達目標を設定できるように、職業大教員等と連携して定期的な教材の改訂が必要である。
- ・ 基盤整備センターのサーバーログに基づき、リクエスト数を半月単位で取得できるため、今後はログでアクセス数を確認しながら、普及の状況を把握する必要がある。

第3節 まとめ・謝辞

全国の能開施設にBIM教材を活用いただくことで、居住系をはじめとした建築技術を扱う指導員がBIM関連訓練を担当し、訓練受講者の技能・技術の習得に寄与できることを期待する。

本調査研究の実施に当たり、委員各位にはご多忙の中、教材作成の方向性に関する意見と、改善に向けた助言、研究会への参画等を通じて多大なご協力を賜った。ここに記して深く感謝申し上げます。